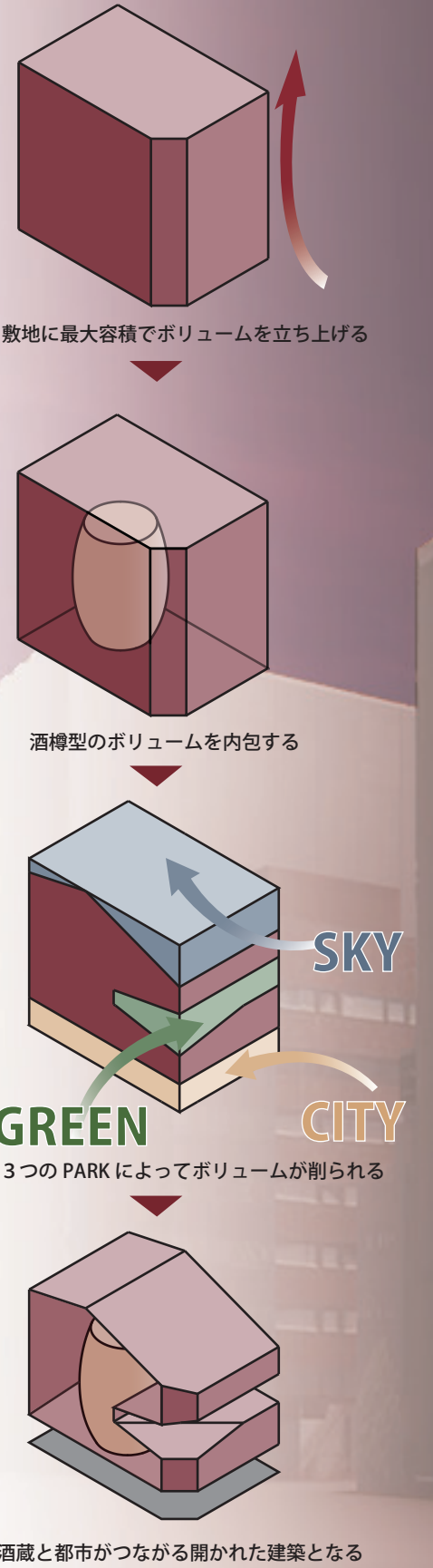
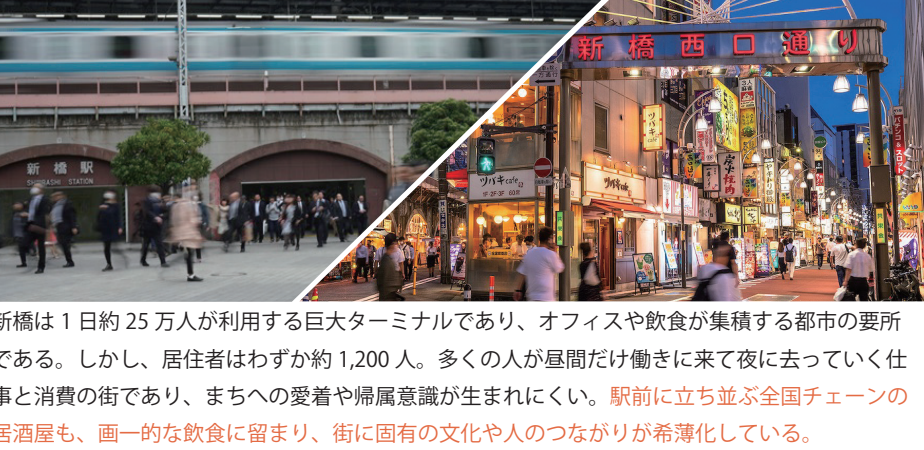


# SAKE STATION SHINBASHI

## 00. 形態ダイアグラム



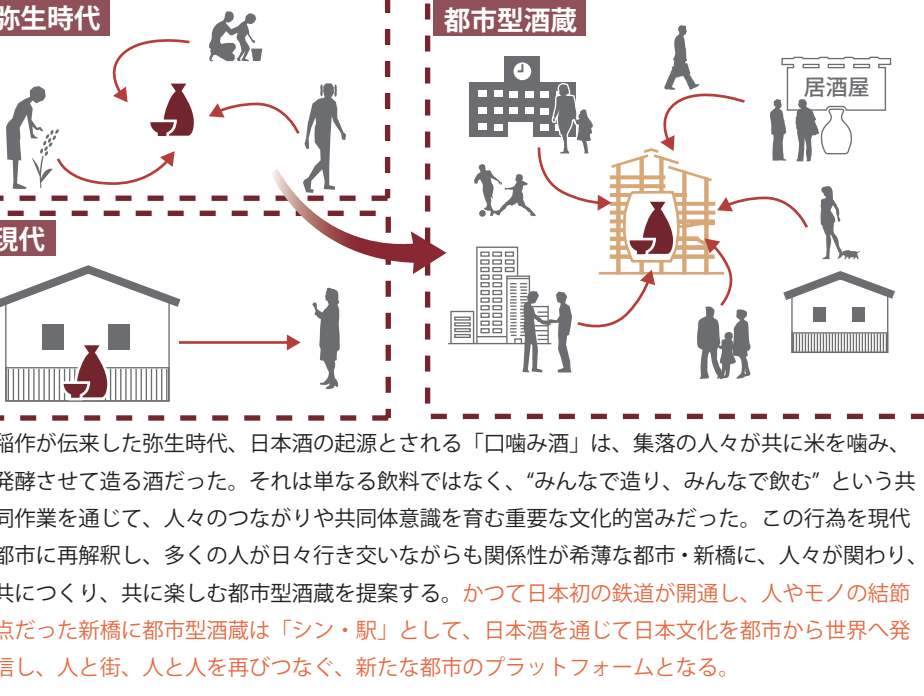
## 01. 仕事と消費のまち「新橋」



## 02. 日本酒の衰退と可能性

日本での酒の消費量は減少傾向にあり、特に日本酒の国内消費量は1973年から約80%減少している。また、輸送費の増加や、後継者不足を原因に酒蔵約3,000軒から約1,200軒に減り、特に地方では廃業が相次ぐ。一方で、2023年の輸出額は過去最高の約473億円を記録し、インバウンド観光との親和性も高く、日本酒を通じた文化発信や都市での体験需要は今後さらに高まる。

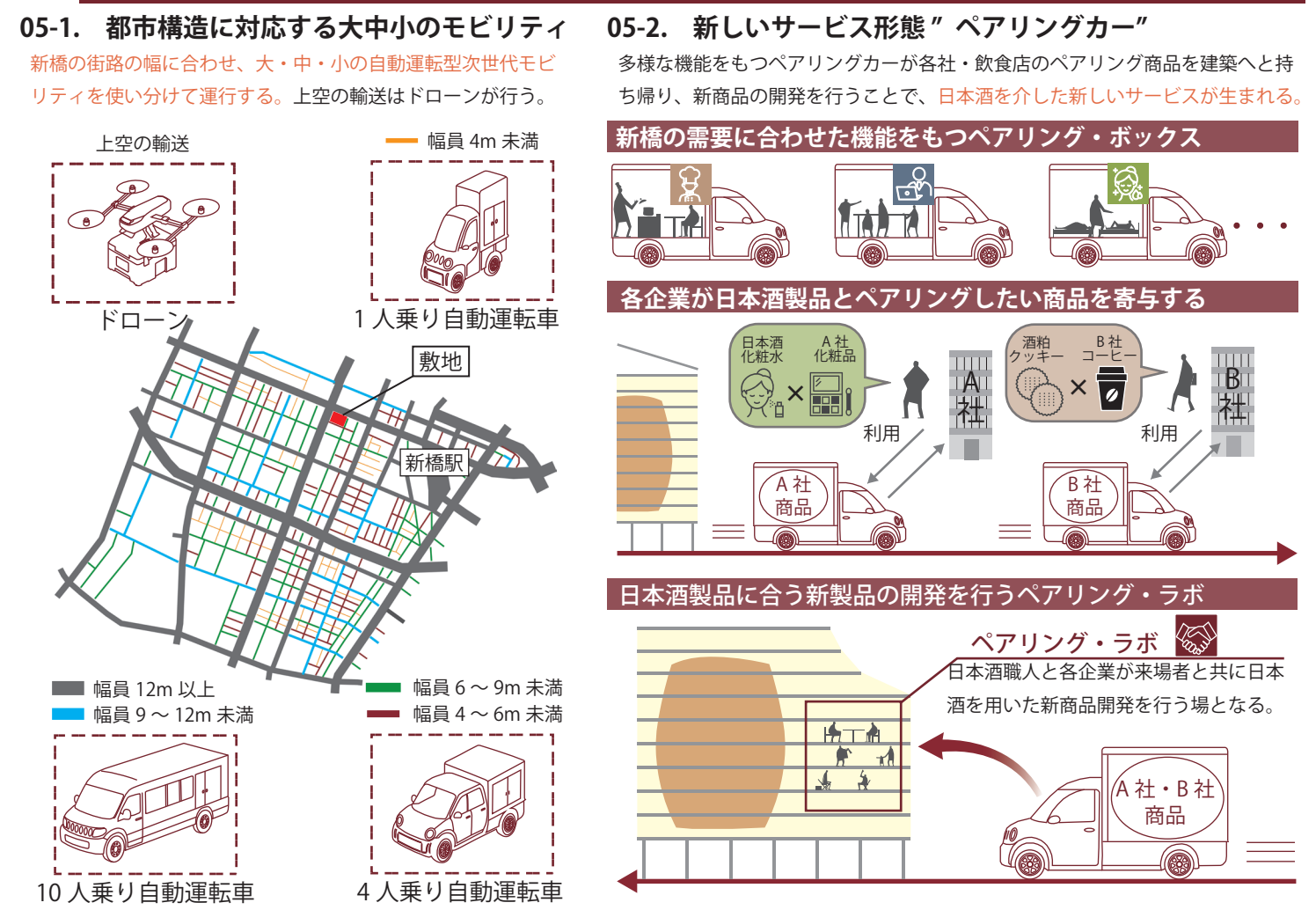
## 03. まちで育てる都市型酒蔵



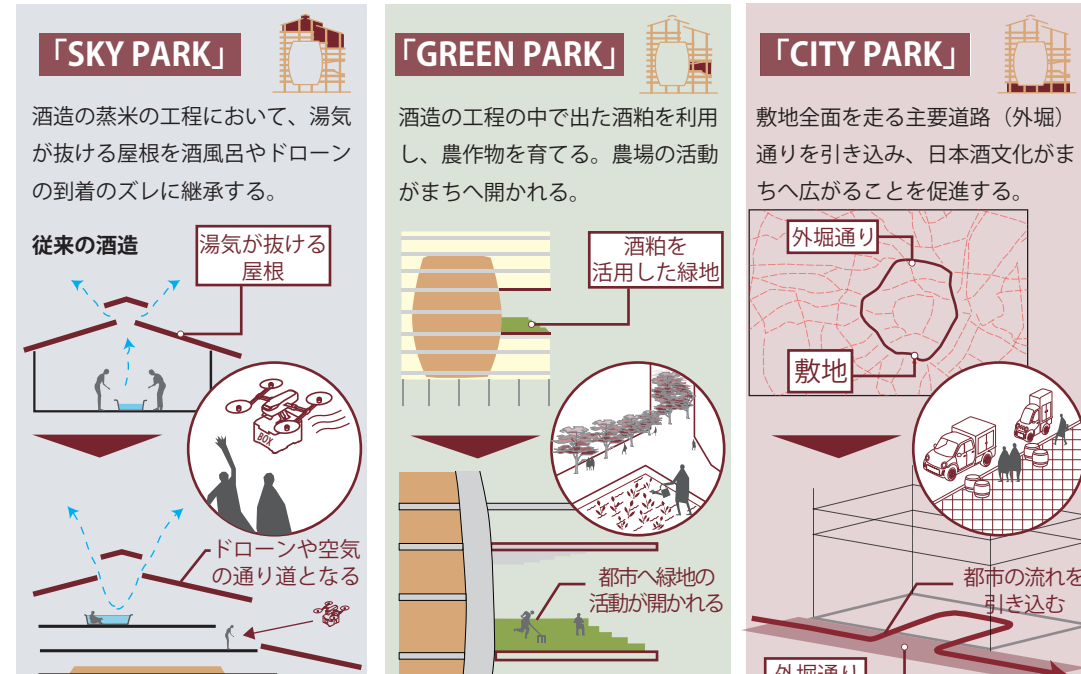
## 04. 人、建築、まちが一体となった日本酒の循環経済



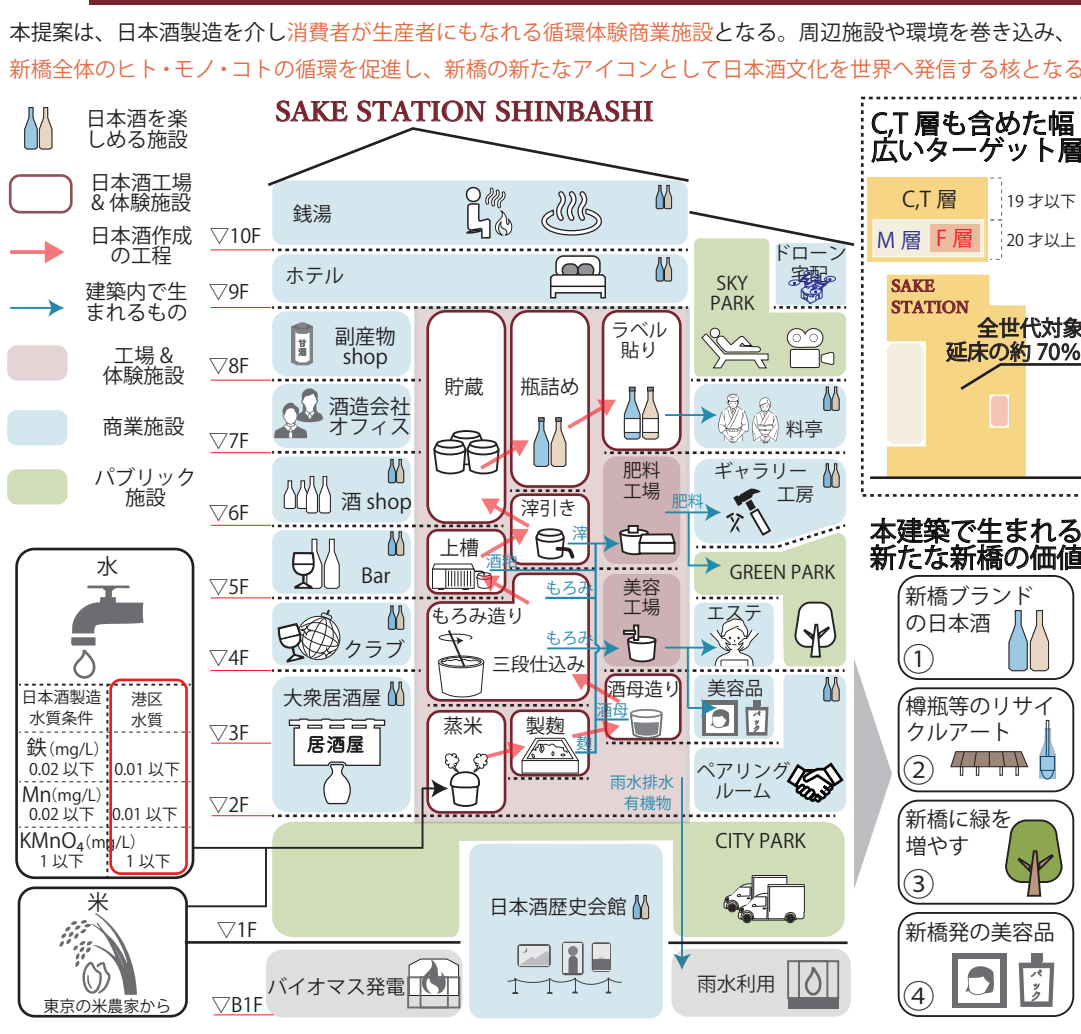
## 05. 次世代モビリティと建築の連携が生む新しいサービス形態



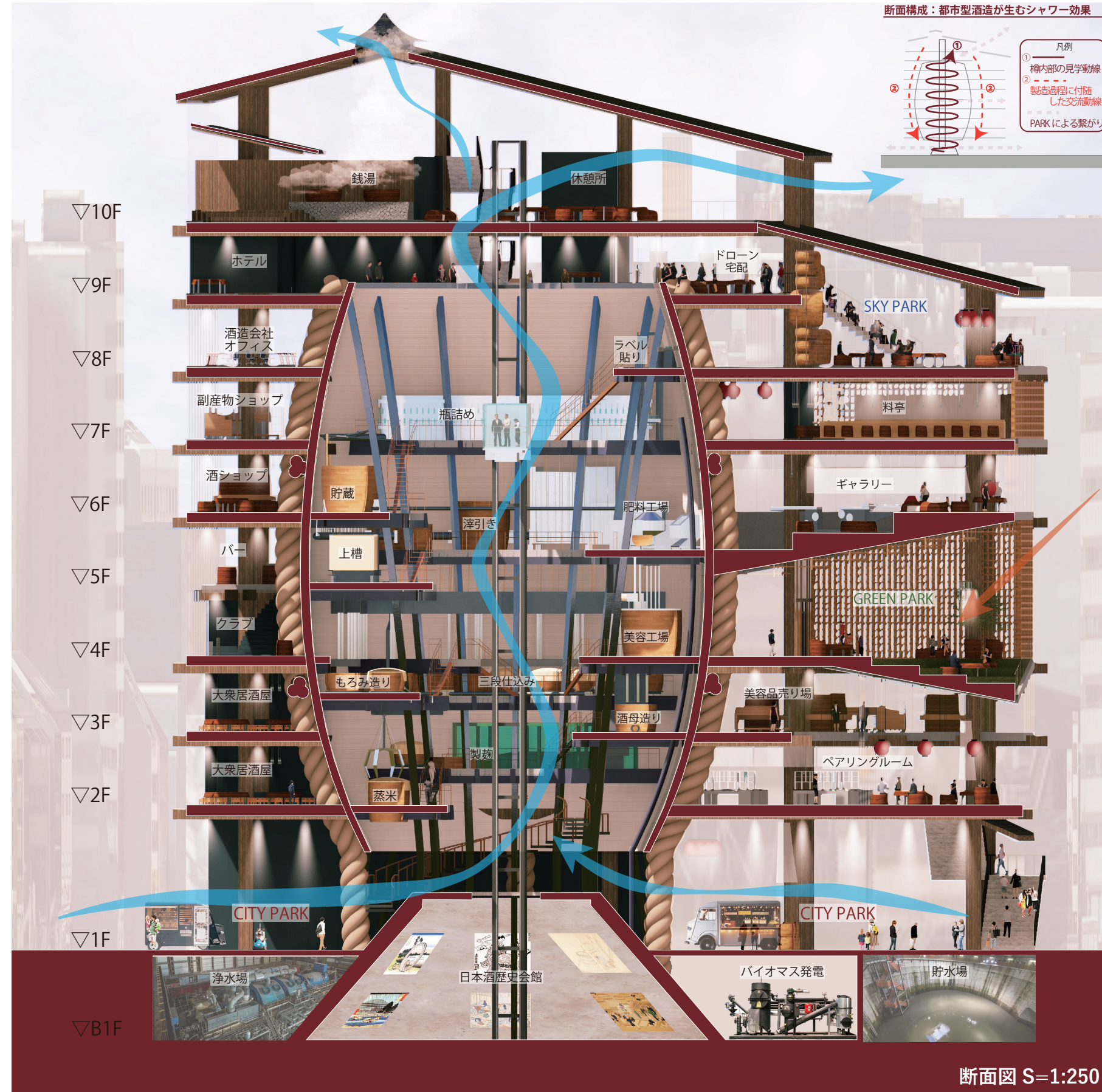
## 06. 酒蔵とまちを接続する3つのPARK空間



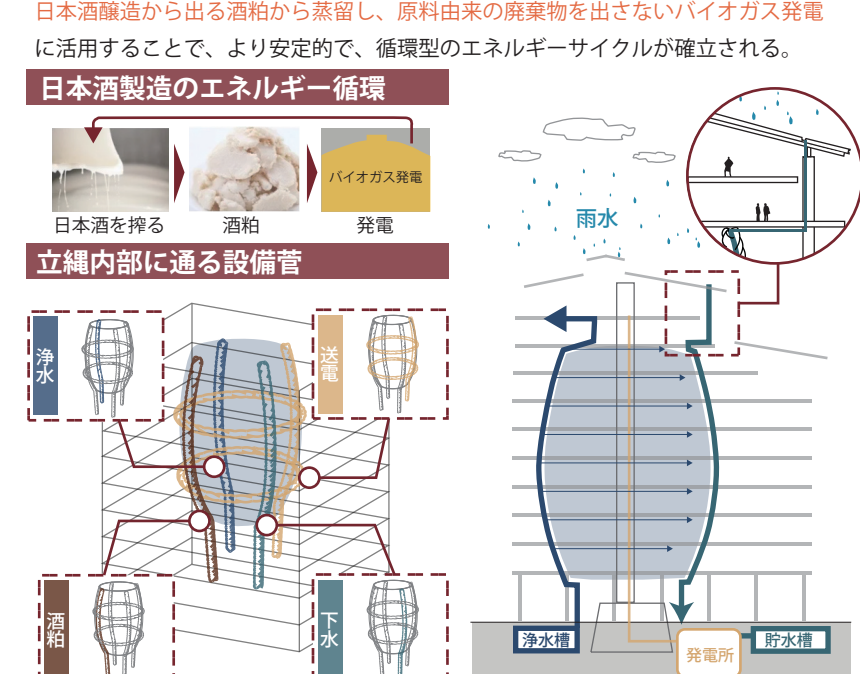
## 07. 日本酒製造によって生まれる新橋ブランド



## 08. 垂直方向に酒造施設が連続する断面計画と酒蔵内部を通るトップラウンジ型の動線計画



## 09. バイオマス発電と雨水を利用した環境計画



## 10. 新橋から広がる日本酒文化

